

ALPS 処理水の海洋放出に関する IAEA 規制レビュー会合の概要

令和 4 年 3 月 30 日
原子力規制庁

1. IAEA 規制レビューに係る経緯

昨年 7 月の日本政府と国際原子力機関（IAEA）との間での取決め¹に基づき、ALPS 処理水の海洋放出に関する規制についてレビューを行うこととされ、本年 2 月 21 日、22 日の準備会合を経て、先週、各国からの専門家及び IAEA 職員によるレビューが実施された。

2. IAEA 規制レビュー会合の概要

(1) 実施期間 令和 4 年 3 月 21 日（月）～3 月 25 日（金）

(2) 場所 原子力規制委員会 13 階会議室

(3) 参加者

IAEA レビューチーム

グスタボ・カルーソ調整官 他 IAEA 職員 8 名

各国からの専門家 8 名

原子力規制委員会

更田委員長、伴委員、金子緊急事態対策監 他 19 名

(4) 会合の内容

ALPS 処理水の海洋放出に関する実施計画の変更認可申請に係る審査・確認のプロセスと内容について原子力規制委員会より説明し、IAEA 安全基準に照らした確認が行われた。主な議題は以下のとおり。

- ・ 政府の責任と役割
- ・ 放出の規制に関する主な考え方
- ・ 放出前の規制のプロセス
- ・ 放射線環境影響評価
- ・ 線源モニタリング及び環境モニタリング
- ・ 外部とのコミュニケーション

これらに関し意見交換を行い、IAEA レビューチームからは、議論で得られた所見をもとに、2 か月程度で報告書にまとめるとの方針が示された。

¹ 多核種除去設備等処理水の取扱いに係る包括的な協力の枠組みに関する付託事項

“IAEA Assistance to Japan on Reviews of Safety Aspects of Handling ALPS-Treated Water at TEPCO’s Fukushima Daiichi Nuclear Power Station (Terms of Reference 8 July 2021)”